

**婦人科初期研修カリキュラム**  
**カリキュラム責任者：山崎 則行**

**<一般目標 GIO: General Instructional Objective>**

1. 女性特有の疾患による救急医療を研修する。  
これらを的確に鑑別し、初期治療を行うための基本知識及び手技を習得する。
2. 女性特有のプライマリケアを研修する。  
女性の性周期に伴うホルモン環境の変化を理解し、それらの失調に起因する生理的、肉体的、精神的変化を来たす疾患の診断と治療を研修する。
3. 妊産褥婦ならびに新生時の医療に必要な基本的知識を研修する。

**<行動目標 SBO: Specific Behavioral Objective>**

1. 婦人科診察に必要な基本態度、技能を修得する。
2. 婦人科診察に必要な種々の検査を行い、その結果を診断し、家族、患者にわかり易く説明できるようにする。
3. 基本的な治療法を研修する。

**<方略 LS: Learning Strategies >**

1. 研修医は、指導医の指導監督のもと外来診察もしくは入院患者の受け持ち医として診療を行う。
2. 研修医は、必要な検査については、できるだけ自ら実施し、受持ち患者の検査として、診察に活用する。
3. 研修医は、指導医の監督のもとに当直を行い、緊急患者の外来診療及び病棟診察研修を行う。
4. 研修医は、受け持ち患者の症例レポートを提出する。
5. 研修医は、症例検討会、抄読会、回診、その他CPC、各種カンファレンス、研究会に積極的に参加し、発表する。
6. 研修医は、学会には積極的に参加し、長期研修者は症例報告を行い、学会発表の基本を習得する。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8-9 時					病理カンファレンス (第4週)	
午前	病棟	手術	病棟	病棟	手術	研修日
午後	病棟	手術	病棟	外来検査	手術	
夕方	カンファレンス(症例 検討会)			カンファ(第 1・3週)		

<研修評価 EV: Evaluation>

研修評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを含めたPG-EPOCにて自己評価及び指導医評価を行う。

CV

1. 婦人科

- (1) 婦人科良性腫瘍の診断ならびに、治療計画の立案
- (2) 婦人科良性腫瘍の手術の第2助手として参加
  - ア. 外来診療もしくは受持ち医として、子宮ならびに卵巣の良性疾患のそれぞれを2例以上経験し、レポートを作成する。
  - イ. 必要な検査・細胞診・病理組織検査・超音波検査・放射線学的検査・内視鏡的検査等については自ら実施し診療に活用する。
- (3) 婦人科性器感染症の検査・診断・治療計画の立案
  - ア. 1例以上を外来診療で経験する。
- (4) 婦人科を受診した腹痛・腰痛を呈する患者・急性腹症の患者の管理
  - ア. 機会があれば積極的に初期治療に参加し、選択科目として研修する場合はレポートにまとめる。
- (5) 不妊症、内分泌疾患患者の外来における検査と治療計画の立案
  - ア. 外来診療で1例以上経験する。